

機械工学委員会分科会の設置について

分科会等名：機械工学の将来展望分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	機械工学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	機械工学は、力学を基礎とした四力学に代表される「材料力学」、「流体力学」、「熱力学」、「機械力学」の学術分野を中心に、多岐かつ多様な応用分野にわたって進化し、また、我が国の産業を支えてきた。一方、近年、自動走行車やロボットに見られるように、AIやビックデータとものづくりが組み合わせられることで、仮想空間と現実空間を高度に融合したシステムの実現が試みられている。このように、四力学の枠組みを超え、様々な新しい分野との融合が進み、機械工学は新しい局面を迎えている。 本分科会では、各分野の専門家を集め、横断的総合技術としての機械工学のあり方について検討する。そして、イノベーションへとつなげていくために、機械工学の将来展望について検討し提言としてまとめて行くことを目指す。
4	審議事項	1. 機械工学を基盤とした学術分野および産業分野の現状や動向に関する情報交換の場の形成 2. 機械工学および関連分野の体系を調査し、機械工学のあり方とともに強化と発展を促すための方策 3. イノベーションの創出、および社会や国民へのさらなる貢献を目指した機械工学の将来展望に関する検討と提言 に係る審議に関すること
5	設置期間	令和2年11月26日 ～ 令和5年9月30日
6	備考	※事実上24期より継続